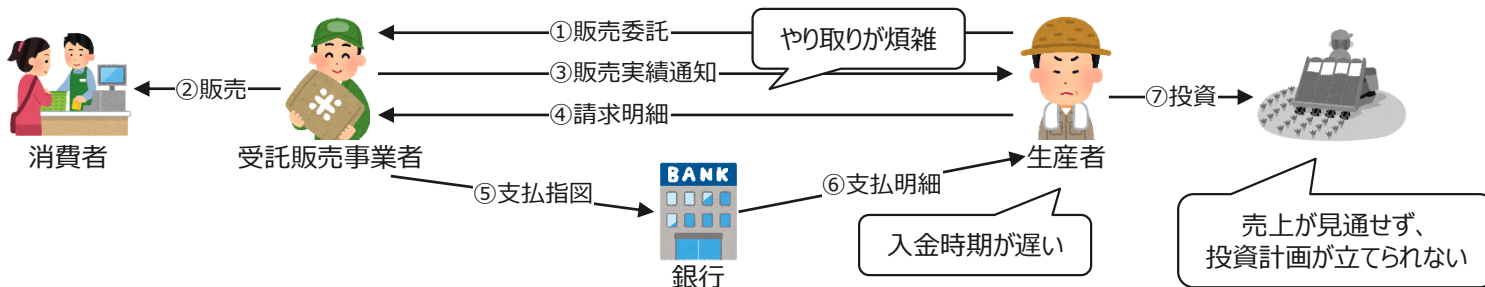


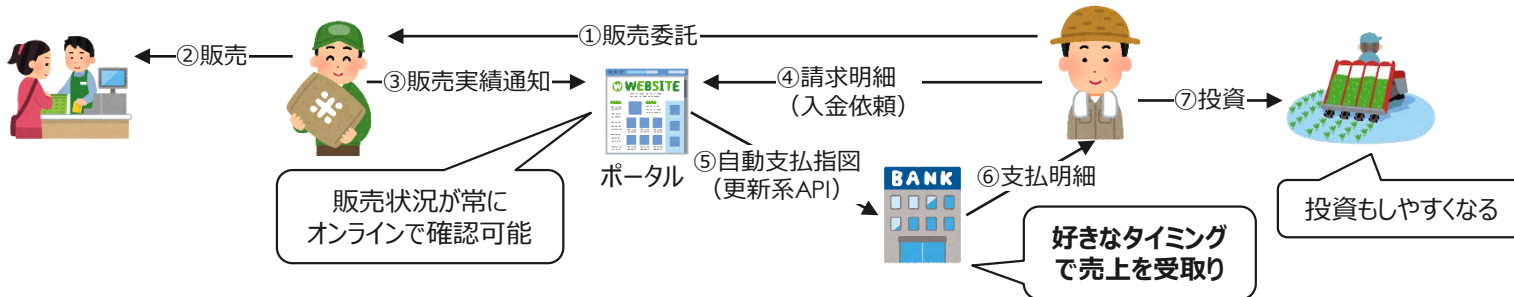
類型	ユースケース		特に関連する領域			概要
			受発注	請求	決済	
取引に合わせた関連領域のデジタル化	1	早期支払の自動化		✓	✓	受託販売による売上の委託者への支払いを、委託者からの支払依頼/処理/入金に至るまでをデジタル化するとともに、支払早期化に対応
	2	取引データの集約と経理業務の自動化		✓	✓	事象者間の取引データを集約し、債権債務の解消機能（クリアリング）を付与することで、これに基づく経理事務を自動化・効率化
	3	自動交渉	✓			標準化された自動交渉システムを活用し、調整・交渉を実施。受発注プロセスの前工程をデジタル化し、その後の一連の取引プロセスと連携
	4	物流・検収と請求の連携		✓		動産の出荷・納品・検収等のステータスの把握と、検収に必要な付加情報の連携により請求プロセスを迅速化
	5	官公需における受発注・決済のデジタル化	✓	✓	✓	官公需受注事業者に対する契約・決済をデータ化し、紙等による事務負担を軽減する。また、取引データ集約により、金融機関の資金需要に応えるほか、官公庁側の調達価格の情報開示や会計監査に役立てる。
取引データに付随する関連データの連携	6	GHG情報のデジタル化	✓	✓	✓	受発注・請求・決済データの連携と合わせて納品した製品にかかわるGHGデータを連携しGHG排出量のトラッキングを可能に
取引データのリアルタイム利用	7	需要予測	✓			受発注データ等を基にして、製品・サービスの需要予測を行い、発注の精緻化に加え、情報連携により、川上側のSCM計画や製造計画を精緻化する
	8	ダイナミックプライシング	✓	✓		受発注データと物流データ等を活用したダイナミックプライシングシステムにより、動的に価格を設定し、需要を平準化、リソースを有効活用する

1. 早期支払の自動化 (AsIs/ToBe)

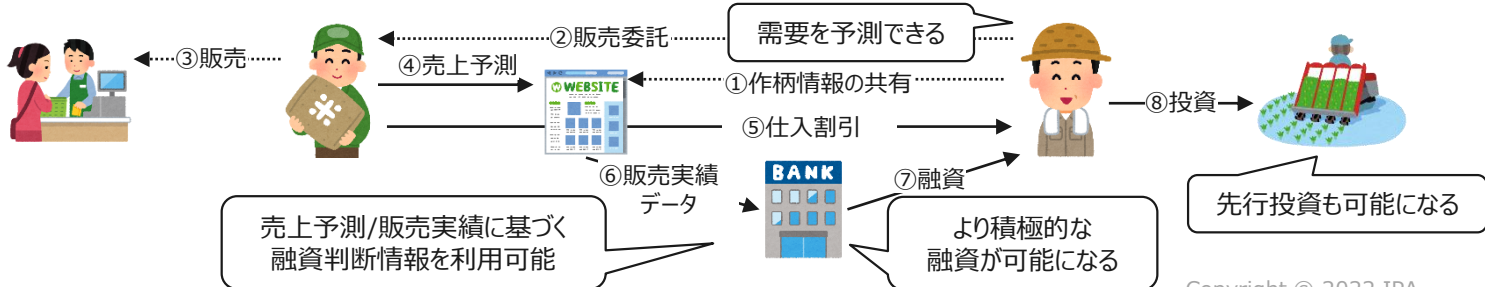
AsIs



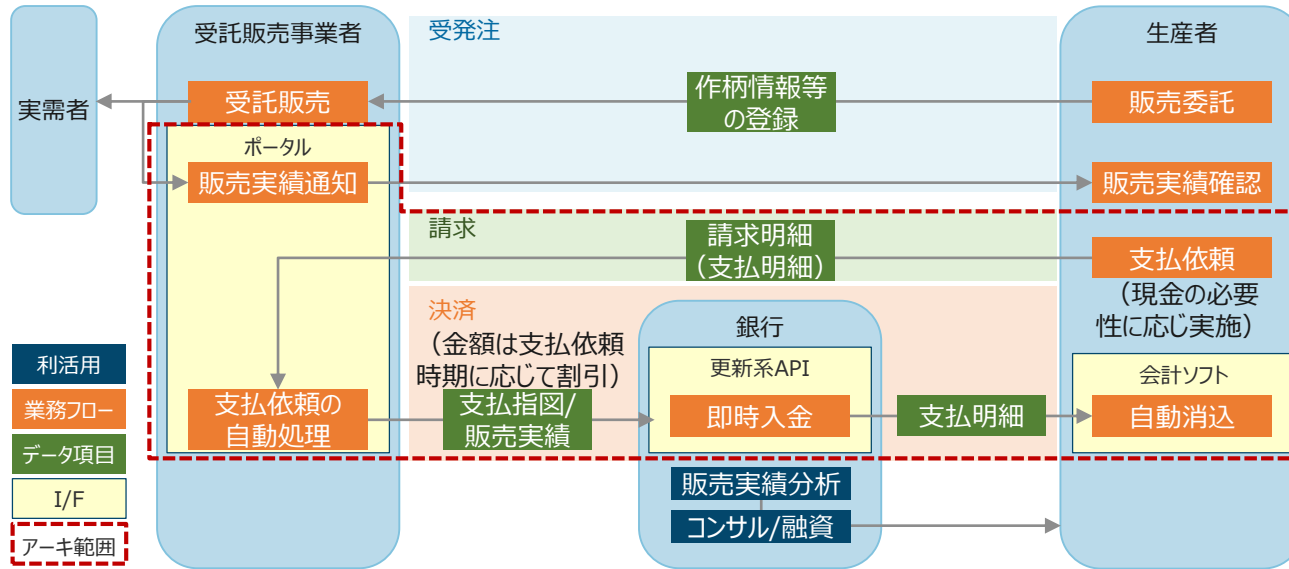
データ連携



データ利活用



1. 早期支払の自動化（業務・データフロー概要）



農産物等の受託販売事業者から、委託販売を行う生産者への受託売上支払いを、生産者の資金需要に応じて早期化する。支払いにあたっては、生産者が電代業免許を持つ受託販売事業者のポータルなどを通じて自身の委託販売売上の入金手続きを行い、金融機関の更新系APIを通じた即時入金により、**資金需要**に応える。

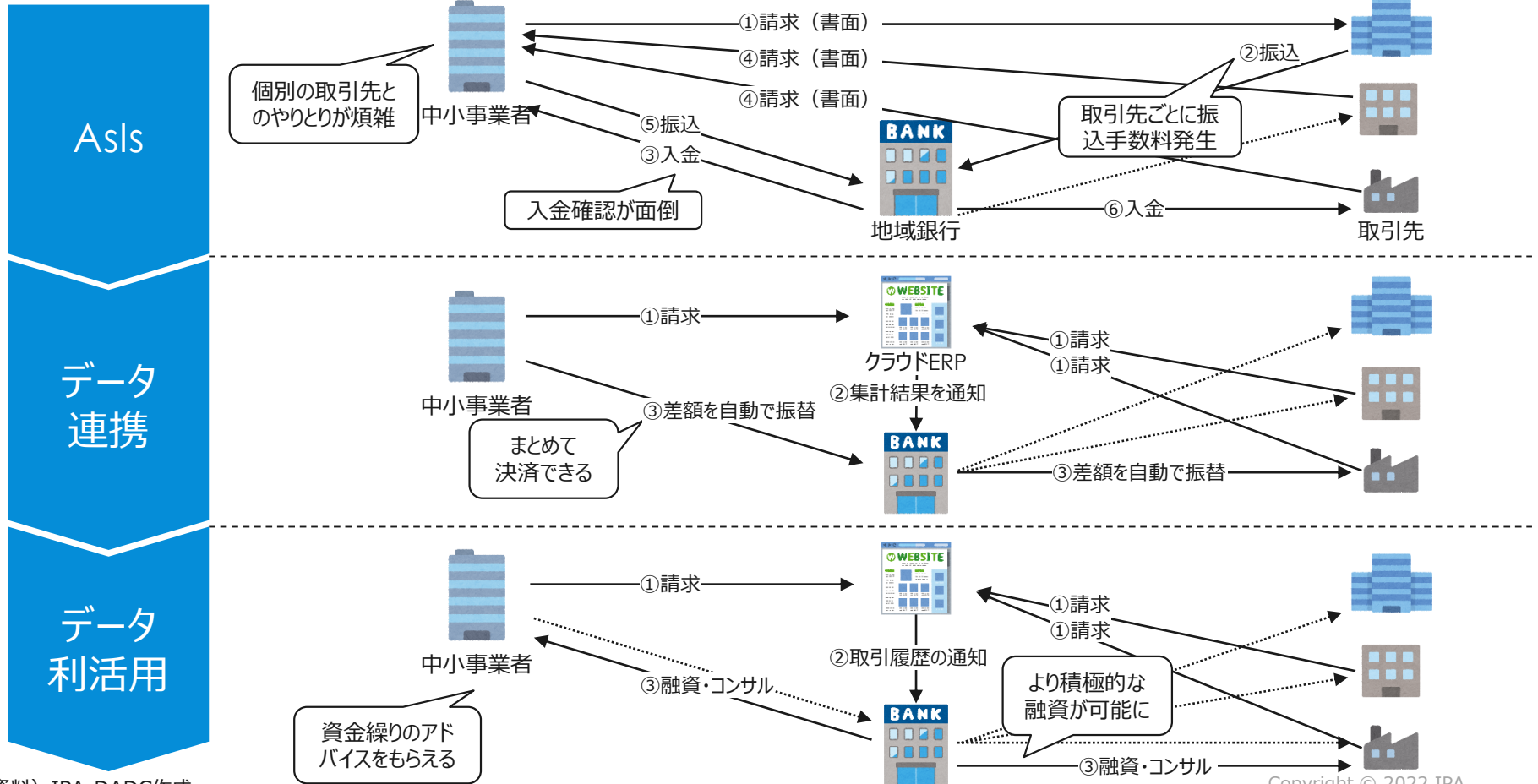
システム上の整備が必要な事項

	整備事項
事業者（受託販売事業者）	販売実績管理/支払依頼の自動処理を行うポータルの開発

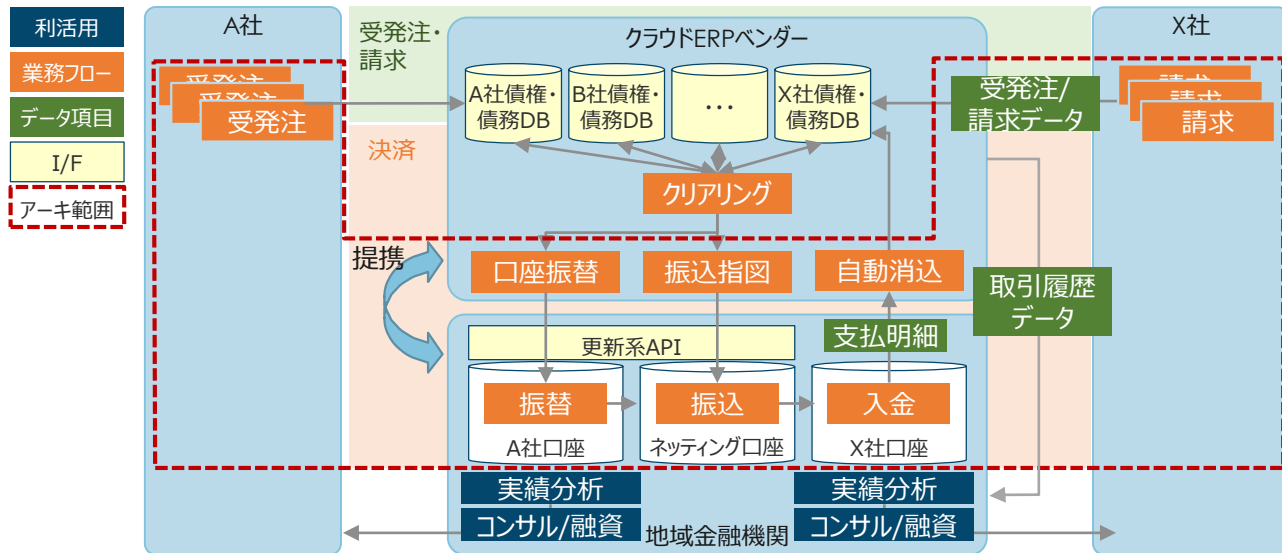
システム外の調整が必要な事項

	整備事項
事業者（受託販売事業者）	支払早期化による割引スキームの確立 データ第三者利用に向けたガバナンス・ルール
金融機関	（販売実績情報のデータ利活用ガバナンスの整備）

2. 取引データの集約と経理事務の自動化 (AsIs/ToBe)



2. 取引データの集約と経理事務の自動化（業務・データフロー概要）



地域金融機関/提携先のクラウドERPベンダーにおいて事業者間の取引を保存し、債権・債務を清算（クリアリング）する。決済戻が正の事業者（A社）に対しては、清算用口座への口座振替を行い、決済戻が負の事業者（X社）に対しては、振込を行う。**蓄積されたデータを用いたコンサル/融資/自動消込**も可能。

システム上の整備が必要な事項

	整備事項
システムベンダー	クリアリング機能の開発 取引の事後修正（単価変更、納品等）への対応

システム外の調整が必要な事項

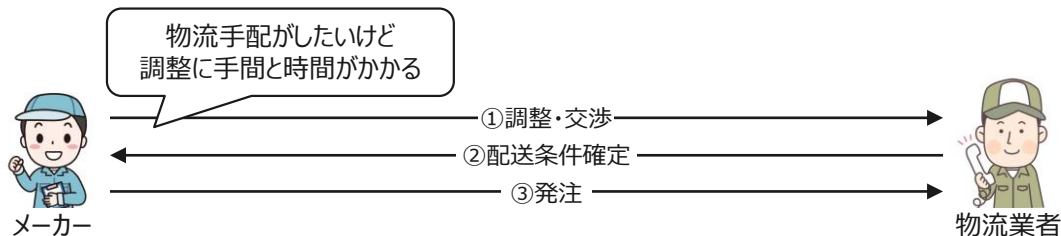
	整備事項
事業者	取引データ利活用への同意
システムベンダー・金融機関	取引のデータのガバナンス体制の整備

関係するステークホルダーと実現可能な価値

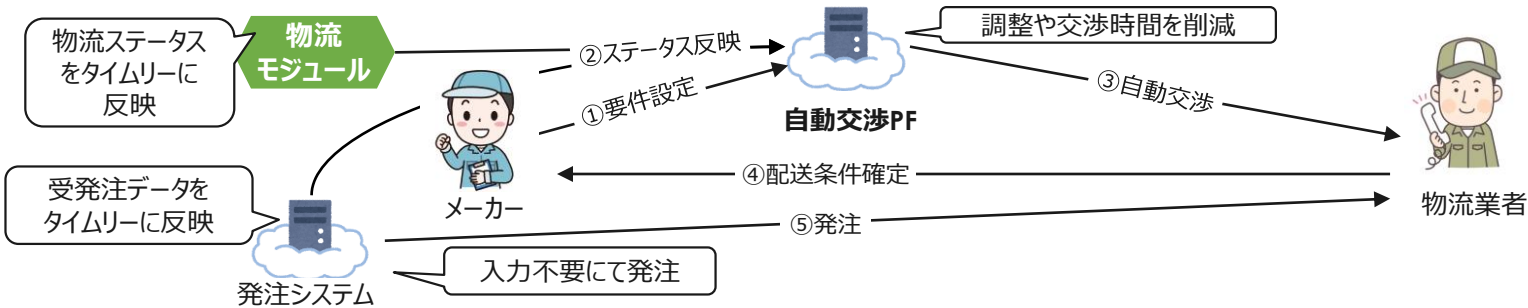
ステークホルダー	想定メリット
事業者 (受注者、発注者)	クリアリングによる流動性ミスマッチの低減
	決済回数を集約による送金コストの低減
	経理事務の生産性向上
システムベンダー	新規ビジネスモデルの開発
金融機関	事業者のデータ集積・分析によるコンサルティング/融資機会の創出
	デジタルチャネルへの誘導

3. 自動交渉 (AsIs/ToBe)

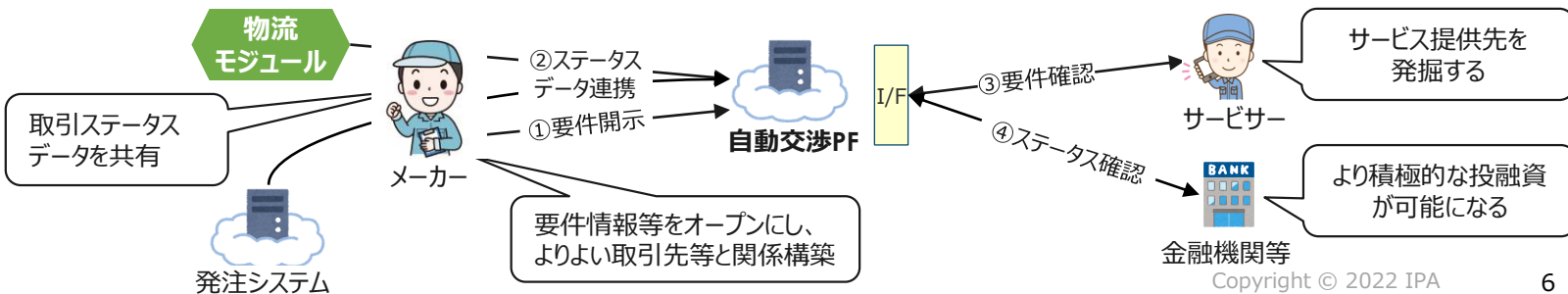
AsIs



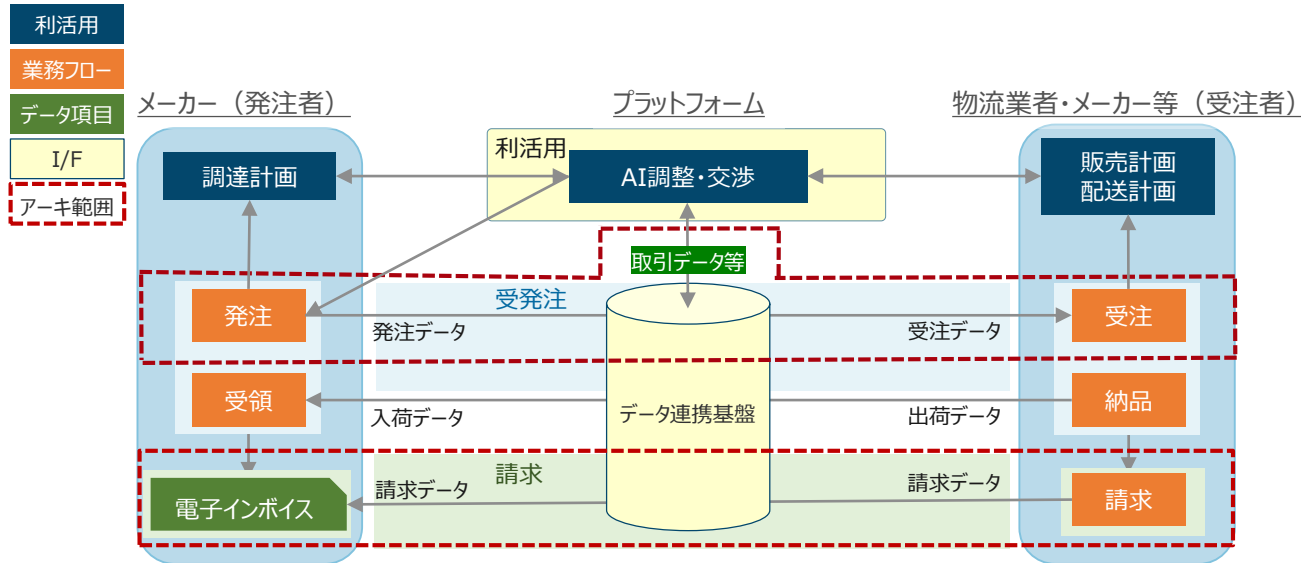
データ連携



データ利活用



3. 自動交渉（業務・データフロー概要）



メール・電話・FAXなどで実施されている事業者間の調整・交渉を、標準化された交渉・調整の手順やメッセージを活用し、AI等によって実施。本交渉・調整結果を受発注-請求プロセスとシームレスに連動し、受発注の前工程からのデジタル完結化を推進。

システム上の整備が必要な事項

	整備事項
プラットフォーム	調整・交渉PFと各種システム連携 受発注システム・物流モジュール連携によるステータス管理
サプライヤ	発注システムと調整・交渉PF連携 電子インボイス（Peppol対応）
メーカー	計画システムと自動調整・交渉PF連携
全体	データ連携基盤とその連携

関係するステークホルダーと実現可能な価値

ステークホルダー	想定メリット
発注者	調整・交渉時間削減による生産性向上とWell-beingの実現
受注者	生産・調達・配送計画の最適化による生産性の向上
社会	生産性の向上 well-beingの実現

システム外の調整が必要な事項

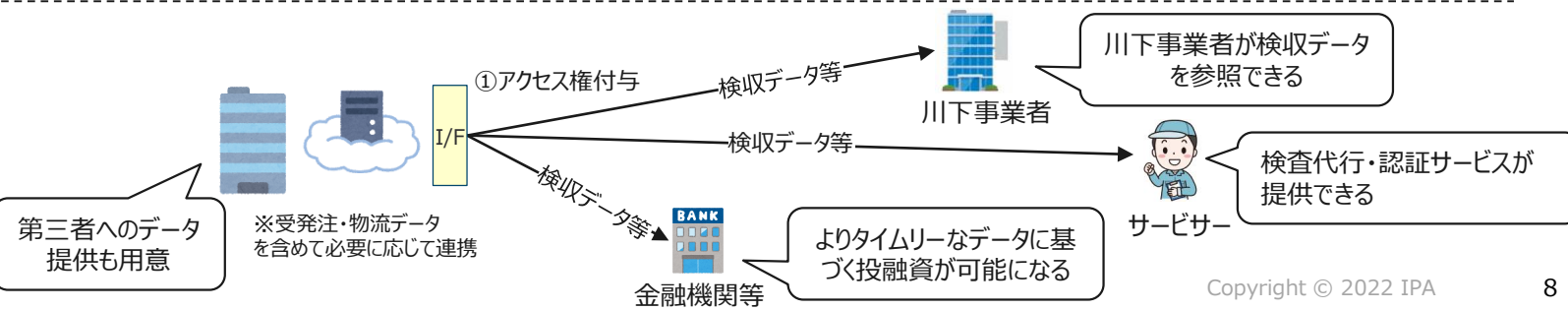
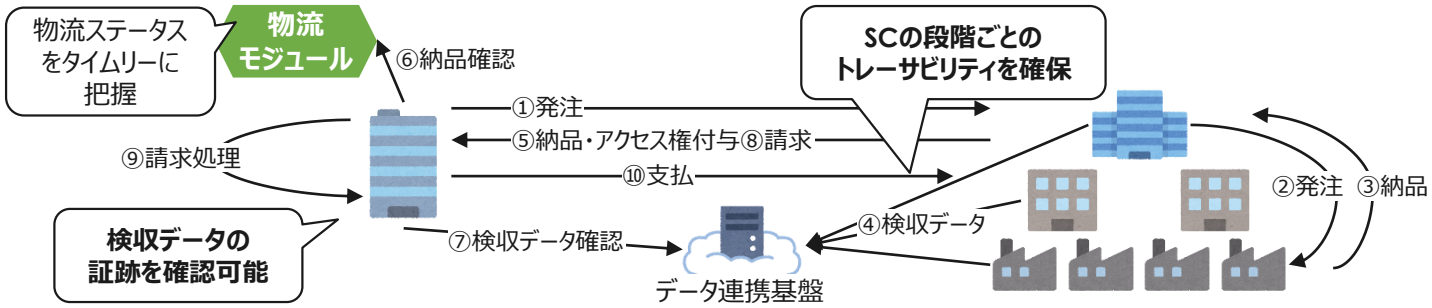
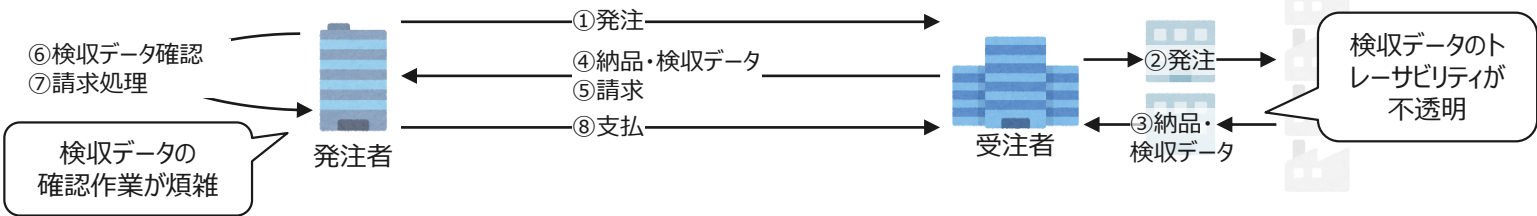
	調整事項
プラットフォーム	データ第三者利用に向けたガバナンス・ルール

4. 物流・検収と請求の連携 (AsIs/ToBe)

AsIs

データ連携

データ利活用

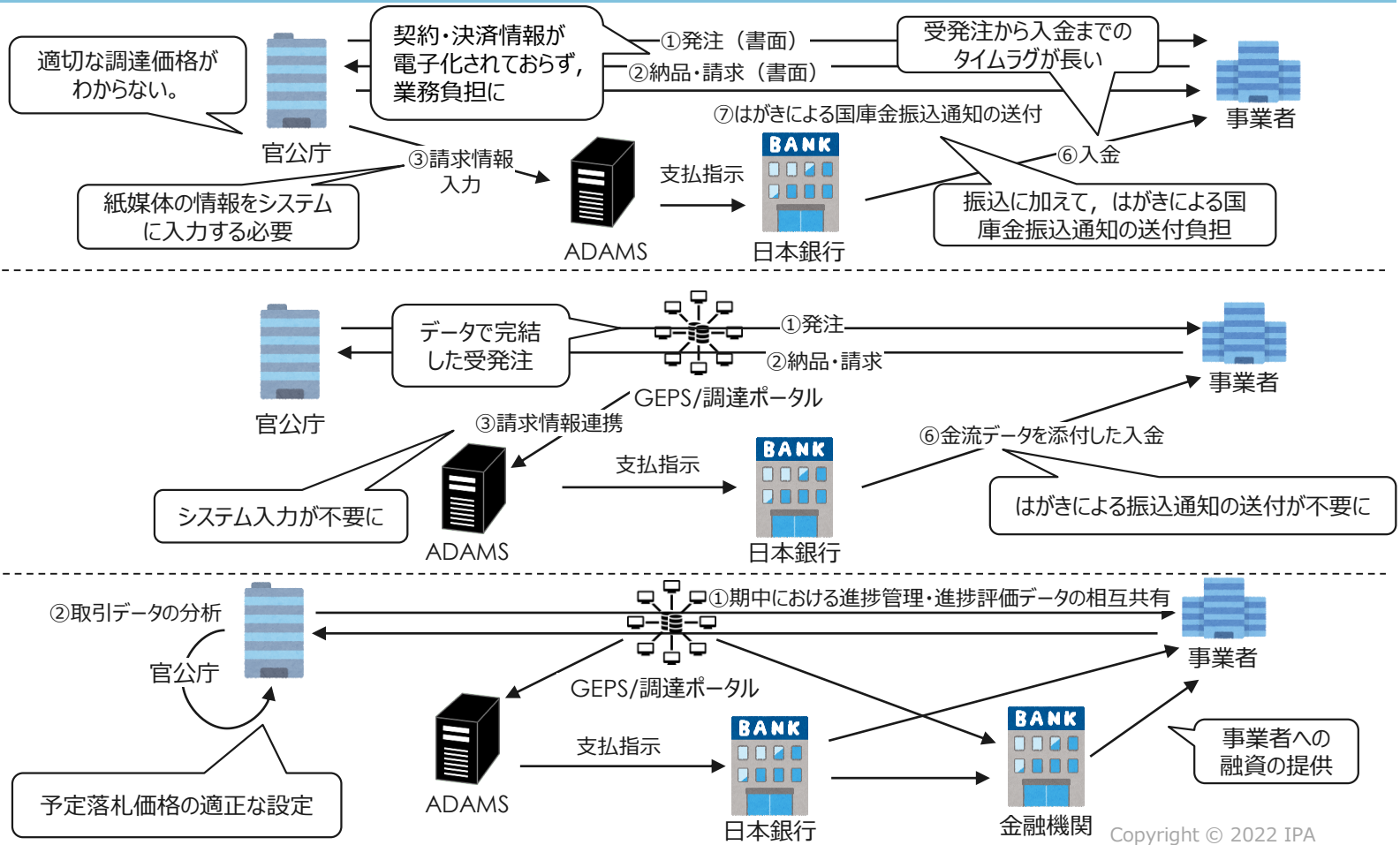


5 .官公需における受発注・決済のデジタル完結 (AsIs/ToBe)

AsIs

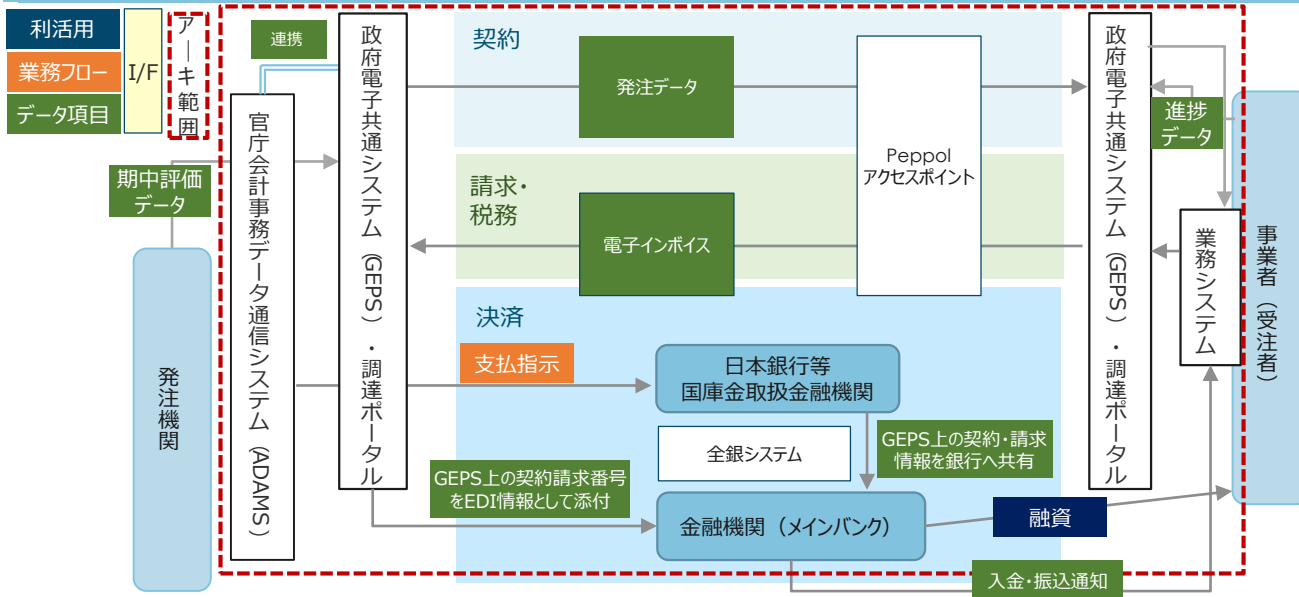
データ連携

データ利活用



(資料) IPA-DADC作成

5. 官公需における受発注・決済のデジタル完結 (業務・データフロー概要)



発注機関から、官公需受注事業者に対する契約・決済をデータ化し、紙等による事務負担を軽減する。
 また取引データを集約することで、金融機関の資金需要に応えるほか、発注機関側の調達価格の情報開示や会計監査に役立てる。

システム上の整備が必要な事項	
	整備事項
ADAMS	API連携
日銀国庫金支出システム	XML電文への対応
GEPS	金融機関等とのAPI連携

関係するステークホルダーと実現可能な価値	
ステークホルダー	想定メリット
事業者 (受注者)	<ul style="list-style-type: none"> ・商流ファイナンスによる資金需要の充足 ・入金消込業務の容易化
金融機関	<ul style="list-style-type: none"> ・国庫金出納業務の効率化 ・取引データを集約することによる資金需要の充足、融資の容易化
官公庁 (発注機関)	<ul style="list-style-type: none"> ・電子契約により、決済に係るはがき・FAX等のやり取りの電子化 ・調達ポータルによる統合的データ管理、調達価格情報集積による適正入札価格設定 ・会計検査の容易化

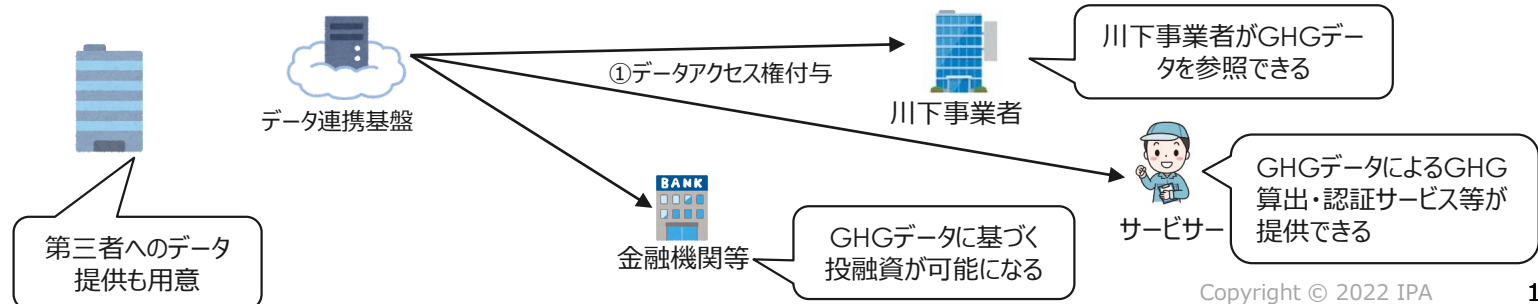
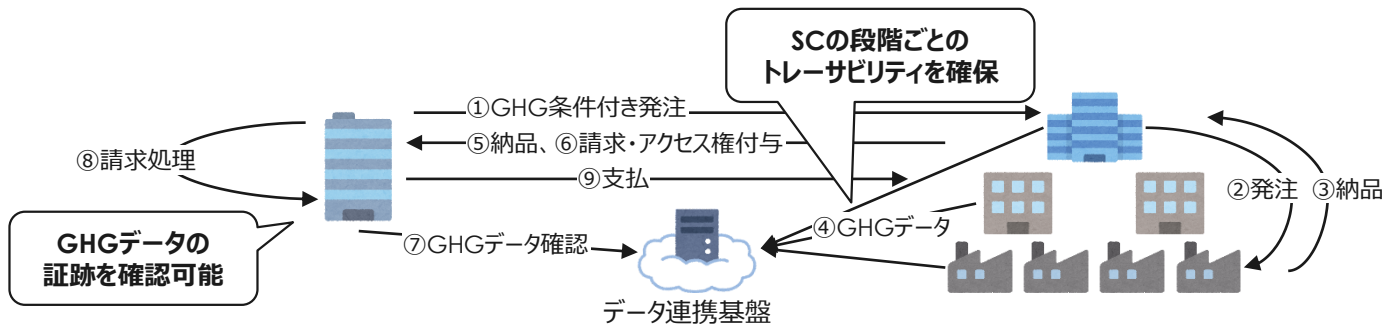
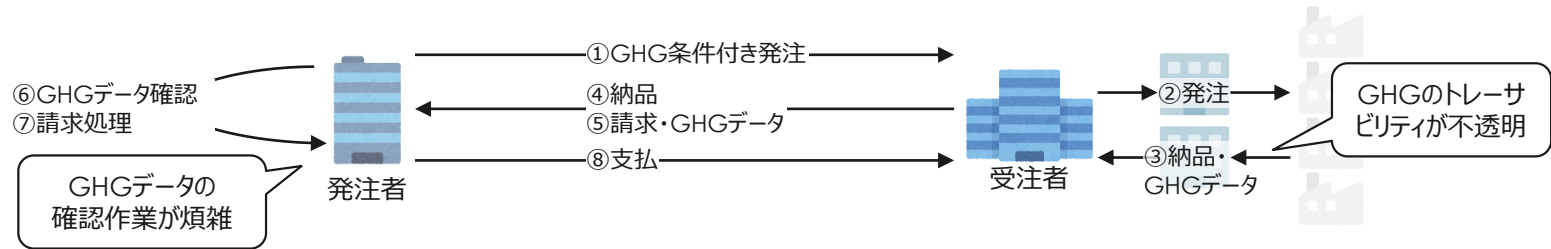
システム外の調整が必要な事項	
	整備事項
GEPS	GEPS提供データの金融機関等への同意の管理方法
金融機関	ファイナンススキームの実現可能性精査

6. GHG情報のデジタル化 (AsIs/ToBe)

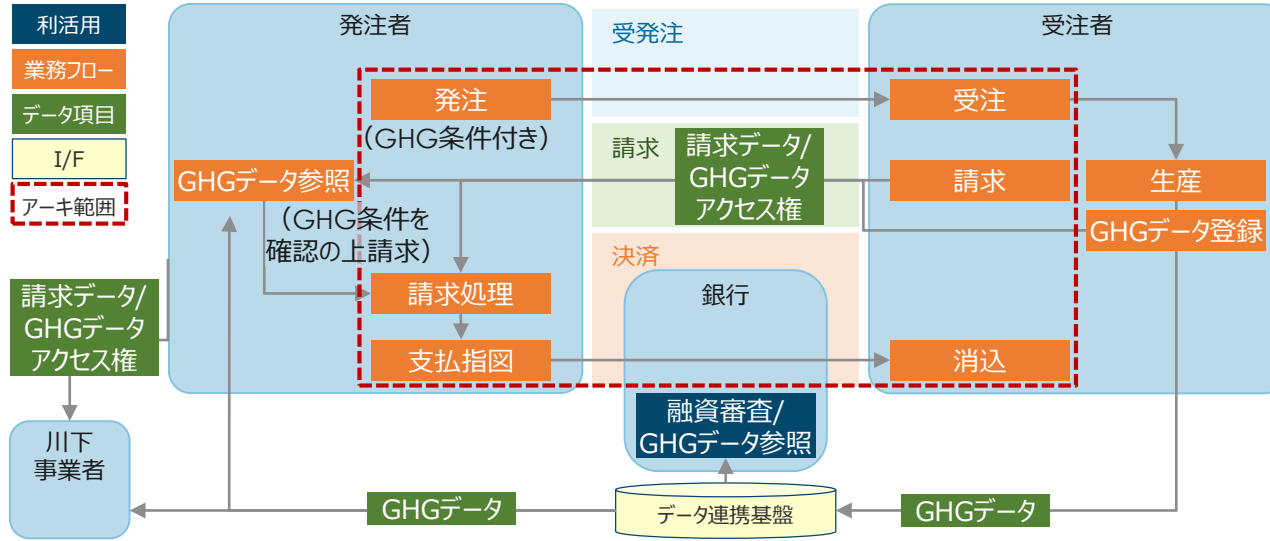
AsIs

データ連携

データ利活用



6. GHG情報のデジタル化（業務・データフロー概要）



発注者によるGHG排出量条件付きの発注に対して、生産活動を通じて発生したGHG排出量データをDBに保存し、そのデータへのアクセス権を請求データと合わせて送付することでGHG条件への適合性を証明する。発注者からさらに川下の事業者へも、アクセス権付与を順次行うことで**トレーサビリティを確保**。

システム上の整備が必要な事項

	整備事項
事業者（受注者）	請求データへのGHGデータアクセス権の添付を可能とする請求システム/データ項目整備
事業者（発注者）	GHGデータに基づく請求可否判断のシステム開発
	データ連携基盤とその連携

システム外の調整が必要な事項

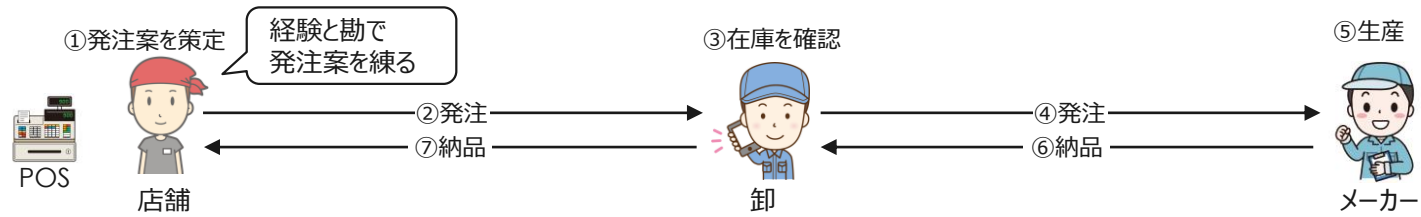
	整備事項
各ステークホルダー間	データ第三者利用に向けたガバナンス・ルール

関係するステークホルダーと実現可能な価値

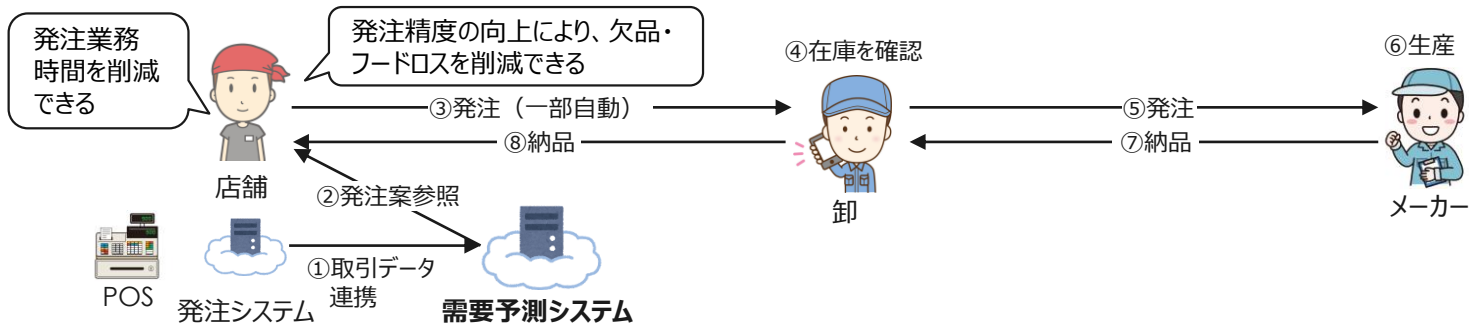
ステークホルダー	想定メリット
事業者（受注者）	効率的かつ精緻なGHGデータのトラッキング機会提供 (GHG排出量削減に伴う融資機会獲得の可能性)
事業者（発注者）	GHG排出量条件設定に伴う発注手続きの煩雑化の回避 川下事業者に対するトラッキング機会提供の簡便化
金融機関	(精緻なGHG排出量の基づく融資機会の提供)

7. 需要予測 (AsIs/ToBe)

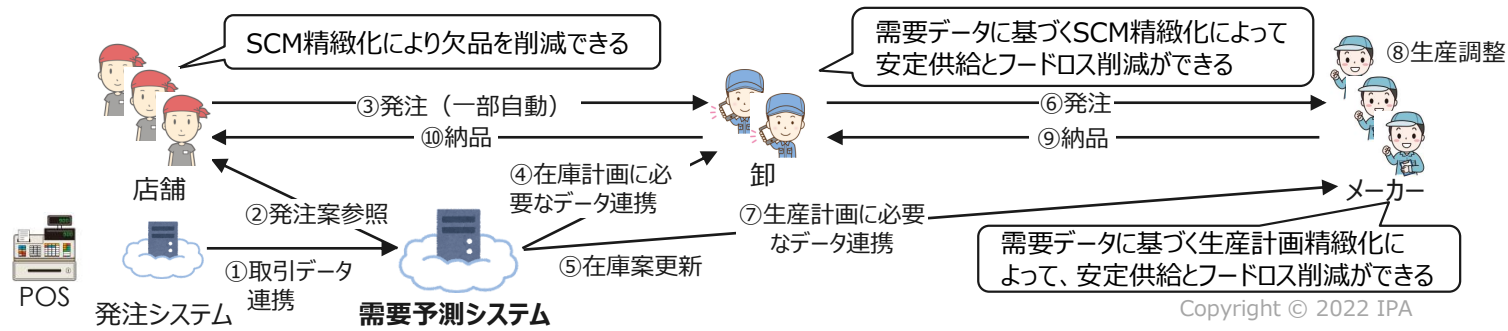
AsIs



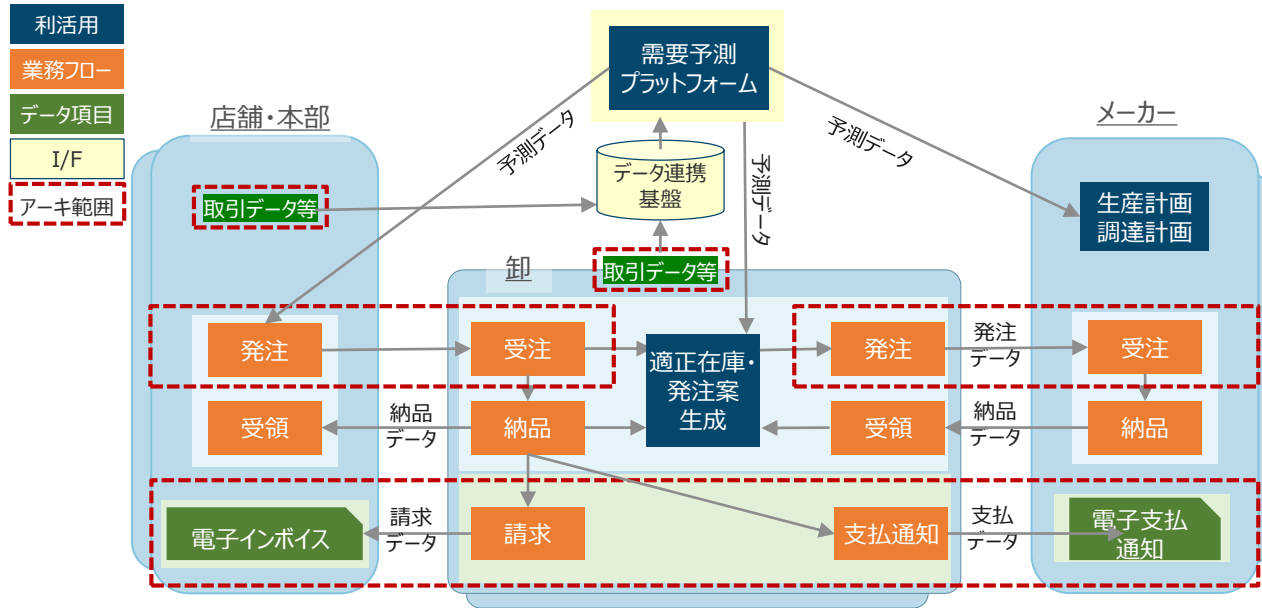
データ連携



データ利活用



7. 需要予測（業務・データフロー概要）



店舗における需要情報に基づき、店舗・本部は発注案、卸は適正在庫と発注案、メーカーは生産計画等をそれぞれ精緻化させ、欠品とロスとのミニマイズの両立を図る

システム上の整備が必要な事項

	整備事項
プラットフォーム	需要予測PFと店舗発注システム連携のためのEDI共通基盤 需要予測PFと各種システム連携 電子インボイス (Peppol) 対応
店舗・本部	受発注システムと需要予測PF連携
卸	在庫計画システムと需要予測PF連携
メーカー	生産・調達計画システムと需要予測PF連携

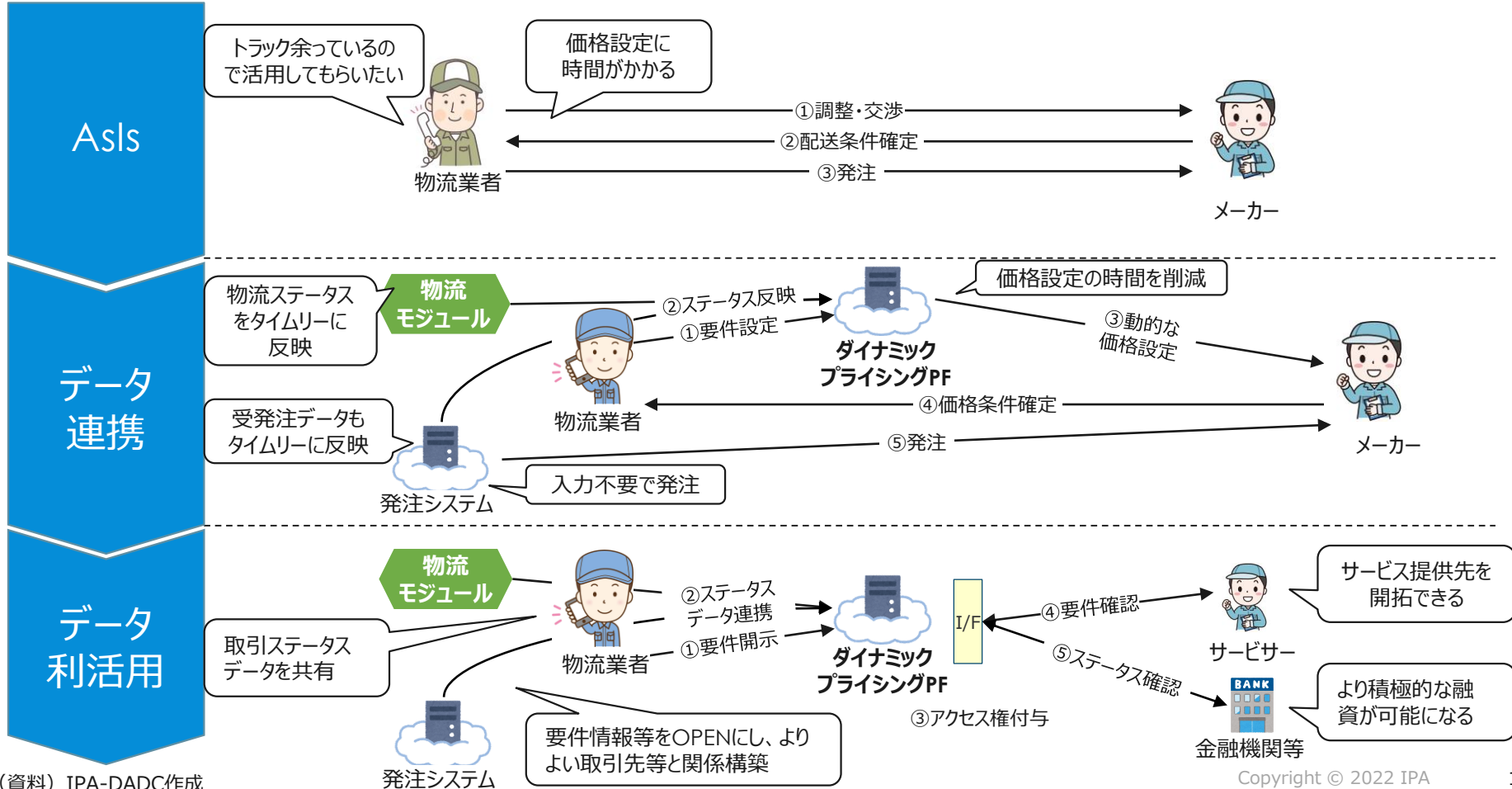
関係するステークホルダーと実現可能な価値

ステークホルダー	想定メリット
店舗・本部	<ul style="list-style-type: none"> 発注時間の短縮による生産性向上とWell-beingの実現 発注精度向上による欠品とロスの削減
卸・メーカー	<ul style="list-style-type: none"> 卸における在庫計画、メーカーにおける生産・調達計画の最適化による安定供給とロスの削減
社会	<ul style="list-style-type: none"> 多様なニーズへの対応とロスとのミニマイズの両立 計画・発注等、業務時間の短縮によるWell-beingの実現

システム外の調整が必要な事項

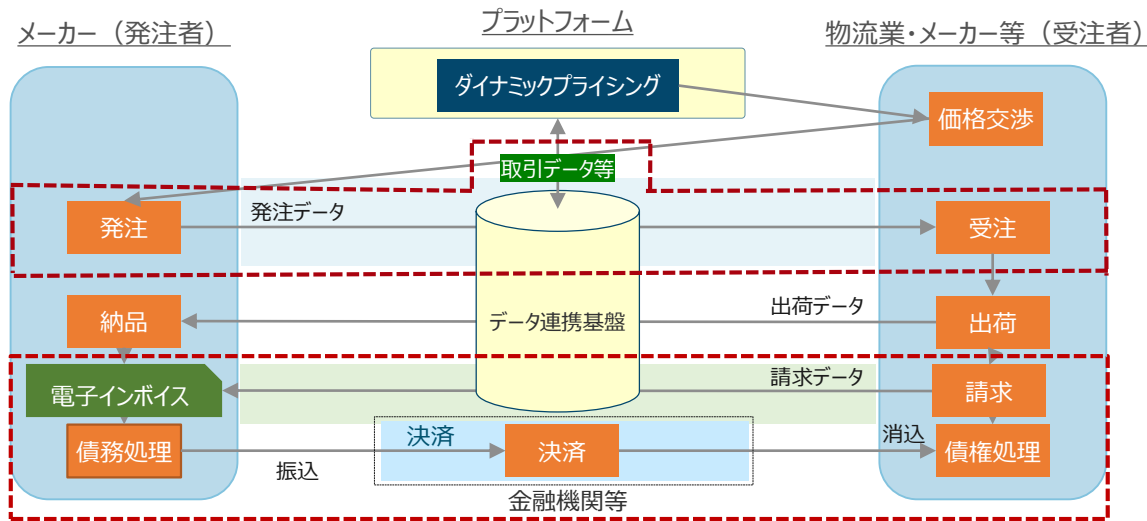
	調整事項
プラットフォーム	データ第三者利用に向けたガバナンス・ルール

8. ダイナミックプライシング (AsIs/ToBe)



8. ダイナミックプライシング（業務・データフロー概要）

- 利活用
- 業務フロー
- データ項目
- I/F
- アーキ範囲



受発注データと物流データ等を活用したダイナミックプライシングシステムにより、動的に価格を設定し、需要を平準化、リソースを有効活用する。また、本交渉結果の契約内容を受発注-請求-決済プロセスとシームレスにデータ連携し、（入力業務を必要としない）受発注の前工程からのデジタル完結を図り、生産性向上につなげる。

システム上の整備が必要な事項

	整備事項
プラットフォーム	ダイナミックプライシングPFと各種システム連携 受発注システム・物流モジュール連携によるステータス管理 電子インボイス（Peppol対応）
メーカー	発注システムとダイナミックプライシングPFの連携

関係するステークホルダーと実現可能な価値

ステークホルダー	想定メリット
物流業・メーカー等（受注）	<ul style="list-style-type: none"> 価格設定時間の短縮等によるwell-beingの実現 需要の平準化、リソースの有効活用
メーカー（発注）	<ul style="list-style-type: none"> 最適な価格条件の獲得
社会	<ul style="list-style-type: none"> well-beingの実現

システム外の調整が必要な事項

	調整事項
プラットフォーム	データ第三者利用に向けたガバナンス